

第1章 図書・雑誌を探す

図書や雑誌の探し方を中心に、長久手キャンパス図書館の基本的な使い方について説明します。

1 長久手・守山キャンパス図書館を利用する

1. 1 OPAC

- ・探している資料が明らかな場合は、まず、長久手・守山キャンパス図書館にあるかどうかを調べます。長久手・守山キャンパス図書館で所蔵する資料（図書、雑誌、AV資料）のほとんどは、OPACで検索できます。ただし、貴重書はOPACでは検索できません。カウンターにある冊子体目録「特別書庫目録」で調べてください。
- ・守山キャンパスの雑誌はOPACでは検索できません。守山キャンパス図書館ホームページ（<http://www.nrs.aichi-pu.ac.jp/library/>）の「所蔵雑誌目録」でお調べください。ただし、守山キャンパスの雑誌は貸出不可のため、直接来館するか文献複写を申し込んでください。（複写料金1枚45円、送料は無料）
- ・OPAC（オーパックまたはオパック）とは、Online Public Access Catalogの略で、図書館の蔵書を検索するためのオンライン目録のことです。長久手キャンパス図書館にあるOPAC端末のほか、図書館ホームページ（<http://www.aichi-pu.ac.jp/library/index.html>）、携帯電話からも利用できます。OPACを使った検索の仕方の概要については、別資料で紹介しています。
(⇒資料「OPACを使った資料の探し方」)
- ・検索した結果、求める資料が図書館にあることがわかったら、OPACの所蔵情報に表示された配架場所や請求記号等を確認して、図書を探します。資料種別ごとの探し方を以下に示します。

①図書

- ・配架場所：図書の場所を表します。
 - 「長久手2階開架」「長久手2階小型」「長久手2階大型」「長久手2階教著」「長久手2階同窓」 → 2階の各コーナーにあります。
 - 「長久手1階参考」 → 1階の参考図書コーナーにあります。
 - 「長久手書庫」「長久手特別文庫」 → 書庫にあります。
 - 「守山-」とある図書は守山キャンパス図書館の蔵書です。「予約」
 - ※書庫にある図書は、「図書請求票」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。職員が書庫から図書を出納します。
 - ※3年生の後期から、直接書庫に入ることもできますので、希望する場合はカウンターへ申し出てください。（詳細は、書庫へ入る（8p）を参照）
- ・状態：図書の状態を表します。
 - 「空欄」：貸出可能です。書名・配架場所・請求記号などを控えて図書を探します。
 - 「貸出中」：現在、貸出中のため利用できません。予約をすることができます。
 - ※予約する場合は、「予約受付票」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。あるいは、すでに図書館でパスワードの発行を受けた方は、「予約」ボタンをクリックすれば予約画面に進み、自分で予約することができます。新たにパスワード発行を希望する方は、カウンターに申し出てください。
 - ※「貸出区分」が「貸出不可」になっている場合は参考図書など、館外貸出できない図書です。

②雑誌

- ・配架場所：雑誌の場所を表します。
 - 「長久手開架雑誌（■年）」→過去■年分の巻号は1階雑誌コーナーに、それ以前の巻号は書庫にあります。
 - 「長久手書庫雑誌」 →すべての巻号が書庫にあります。

- ・所蔵巻号：所蔵する巻号を表します。求める巻号が含まれているかどうかを確認してください。受入継続の欄が「受入継続中」と表示されている雑誌は、現在も受入が続いている雑誌です。所蔵表示がない巻号も、ほぼ最新号まで所蔵しています。求める巻号を所蔵している場合は、雑誌名、請求記号（「P」で始まる）、配架場所等を控えて雑誌を探します。

③貴重書

- ・「特別書庫目録」を調べたら、書名と請求記号を控えておいてください。
- ・カウンターで「貴重書閲覧申請書」に記入し、図書が出納されたらカウンター近くの「貴重書閲覧室」で閲覧してください。貴重書の複写はできません。ただし、マイクロフィルム化されている一部資料については複写が可能です。
- ・マイクロフィルム化された資料は、OPACで検索することができます。

④マイクロ資料

- ・OPACで検索したら、タイトルと請求記号を控えておいてください。カウンターで「視聴覚資料請求票」に記入し、マイクロフィルムを受け取って、「マイクロ資料閲覧室」で閲覧してください。複写もできます（1枚70円）。

⑤AV資料

- ・AV資料では、形態等による種類によって、請求方法が異なります。
 - DVD、ビデオ → AVコーナーのAV架から視聴したい資料をカウンターに持ってきて請求します。
 - CD、カセット、LD →カウンターにある各リストから選び、「視聴覚資料請求票」に必要事項を記入して請求します。
- ・AV資料は、OPACでも検索することができます。
- ・カウンターで、ソフトとヘッドホンを受け取ったら、AVコーナーまたはフレンズブースで視聴してください。

マイライブラリに登録する

- ・「マイライブラリ」は、図書館に来館することなく、貸出・予約情報の確認、貸出中資料の予約、OPACの任意の資料のリスト作成などができるサービスです。
- ・ログイン名とパスワードが必要です。必要な方は図書館カウンターまたはメールでお申し込みください。メールで申し込む場合は、以下の必要事項を記入してお送りください。再発行が必要な場合は、件名を「マイライブラリ再発行申請」としてください。

【宛先】 etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp

【件名】 マイライブラリ申請

【本文】 氏名、所属（学部、研究科名）、

学籍番号または教職員番号（不明な場合は記入不要）、

図書館利用証番号（学籍番号と同じ場合は記入不要）

ご自分のメールアドレス

数日以内に、図書館からログイン名と初期パスワードをお知らせします。

書庫へ入る

①書庫へ入ることのできる方

- ・ 教員、大学院生、卒業論文作成年次の学生です。

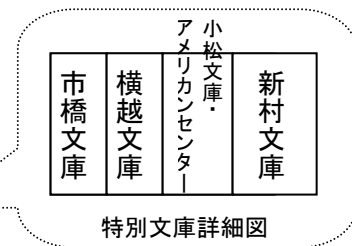
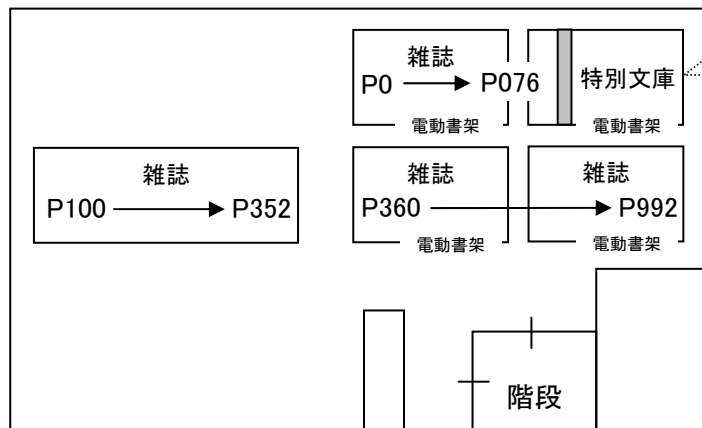
②手続き

- ・ 利用証（学生証または利用カード）を提示し、カウンターで番号札を受け取ってから入庫してください。
- ・ 利用が終了したら、カウンターで番号札を返却してください。
- ・ 書庫資料を持ち出す場合
 - 貸出を希望する場合 → カウンターへ申し出て貸出手続きを受けてください。
 - 館内で利用する場合 → カウンターにある「図書請求票」に記入し、提出してください。利用終了後はカウンターに資料を返却してください。

③書庫の利用方法

- ・ 資料は請求記号順に並んでいます。

MB（地下上層） 雑誌・特別文庫



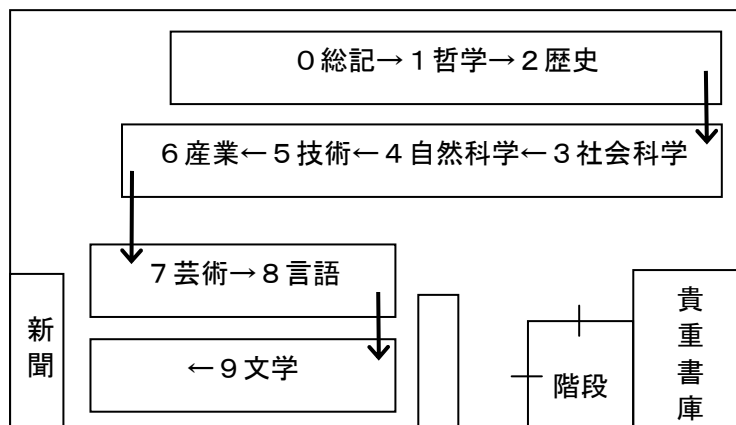
* 電動書架の使い方

スイッチがONであることを確認し、開けたい書架のボタンを押します。

ただし、他の箇所の電気がついているときは開きません。その場合は電気がついている箇所に行き、誰もいないことを確認してボタンを押し、電気を消します。

その後、開けたい書架に戻ってボタンを押してください。利用が終了したら、ボタンを押して電気を消しておいてください。

B 1（地下下層） 図書



* 貴重書庫について

貴重書庫へは入れません。

1階カウンターにある「特別書庫目録」から資料を選び、「貴重書閲覧申請書」に記入して提出してください。

資料が出納されたら、カウンター近くの「貴重書閲覧室」で閲覧してください。

1. 2 データベース・電子ジャーナル

- ・データベースや電子ジャーナルは、端末に向かいながらにして、事典・辞書や雑誌論文、新聞記事などを検索できる二次資料であり、論文や記事の本文が提供されている場合は一次資料そのものです。
- ・長久手キャンパス図書館では、さまざまなデータベースや電子ジャーナルを利用できます。学内 LAN に接続されたパソコンであれば、キャンパス内のどこからでも利用できます。
- ・オンラインデータベースや電子ジャーナルから短時間に大量のダウンロードやプリントアウトを行うことは厳しく禁じられています。これらの行為を行うと、提供元から個人利用の範囲を超える契約違反とみなされ、全学的に利用停止になる場合がありますので、ご注意ください。
- ・長久手キャンパスで利用できるデータベースと電子ジャーナルの概要については、第 2 章・第 4 章 (p. 15～、p. 37～) または別資料で紹介しています。

(⇒別資料「CiNii (NII 論文情報ナビゲータ)」
「EBSCOhost」)

2 国内の大学図書館等を調べる

2. 1 Webcat Plus (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>) [図書館ホームページリンク集-総合目録]

- ・長久手・守山キャンパス図書館に、求める資料が所蔵されていない場合は、国内の大学図書館を調べます。しかし、各大学のOPACを1つずつ検索するのは大変な作業です。このような場合は、全国の大学図書館等が所蔵する図書や雑誌などを一度に検索できるWebcat Plusを使います。
- ・Webcat Plusは、国立情報学研究所(NII)が提供する学術コンテンツ・ポータル「GeNii(ジーニイ)」を構成するサービスのひとつで、インターネット上に一般公開されています。Webcat Plusを使うことによって、全国の大学図書館等が所蔵する図書や雑誌を一度に検索することができます。また、CiNiiやEBSCOhostなど、本学で利用できる論文データベースの検索結果から、Webcat Plusを参照し、該当論文が掲載されている雑誌の書誌情報や所蔵図書館を確認することもできます。

[Webcat Plus トップページ画面]



- ・「連想検索」と「一致検索」という機能があります。
- ・「連想検索」は検索キーワードから関連性の高い単語を抽出し、それを含む図書を探し出します。
- ・「一致検索」は探している図書や雑誌がある程度明確な場合に、タイトル・著者名・作品名・出版社・ISBN/ISSN 出版年などのキーワードから検索できます。
- ・一連の情報探索によって得られた本・作品・人物などの情報を整理して一時的に保存するための「連想×本棚」も特徴のひとつです。

[図書・雑誌詳細画面]



- ・NCID番号をクリックするか(①)、「この本を所蔵する大学図書館」をクリックすると(②)どこの大学がその図書・雑誌を所蔵しているか分かります。

注意

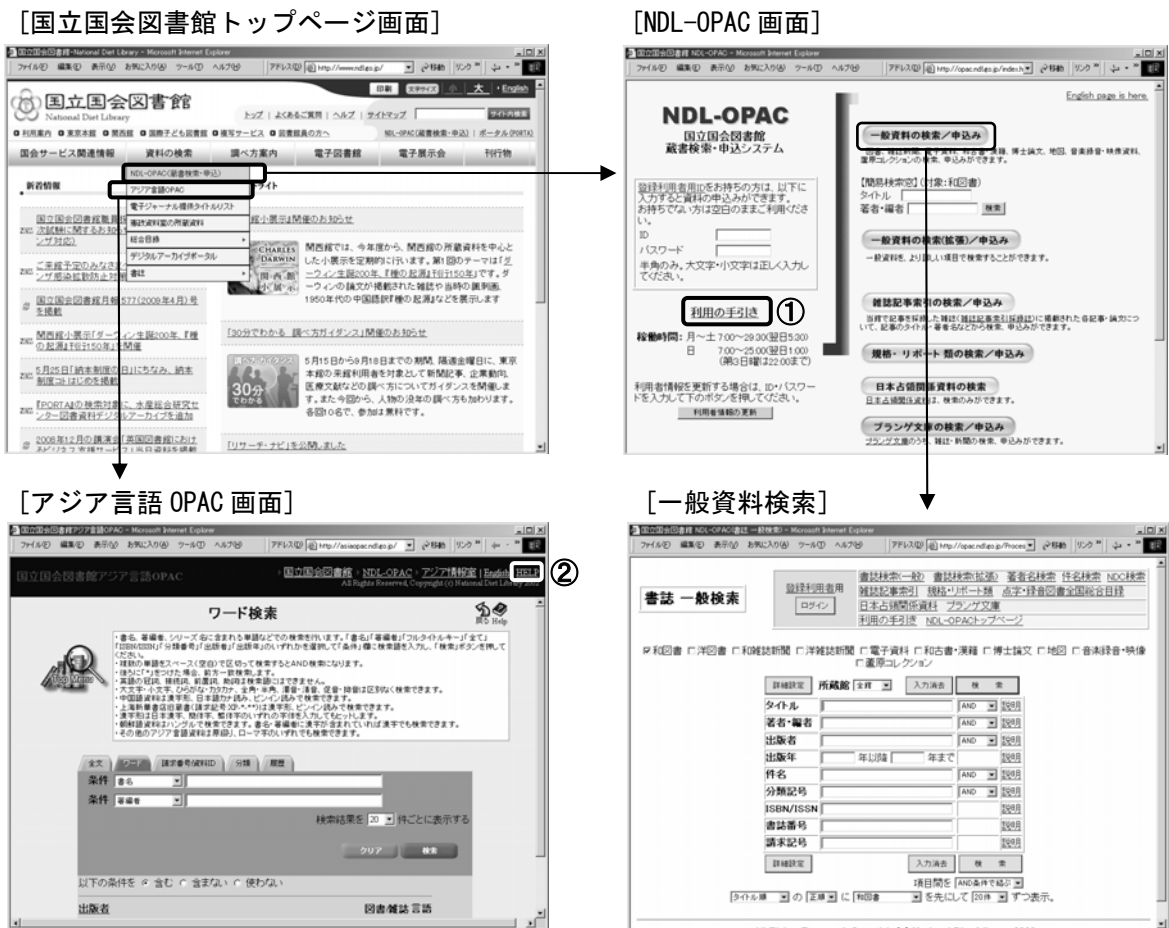
Webcat Plusで国内の大学図書館が所蔵するすべての資料を検索できるわけではありません。Webcat Plusに参加していない大学図書館もありますし、参加館によっては、すべての所蔵資料をWebcat Plusに登録していない場合もあります。それらについては、各図書館のOPACを検索する必要があります。

長久手キャンパス図書館でも、Webcat Plusで検索できる図書は、所蔵資料の一部です。Webcat Plusの検索結果だけで判断せず、必ずOPACで検索しましょう。

3 公共図書館を調べる

・求める資料が、公共図書館に所蔵されている場合もあります。国立国会図書館は、納本制度により、国内で発行された資料のほとんどを所蔵しています。また、近くの公共図書館にあれば来館して利用するとよいでしょう。大学図書館と並んで、公共図書館も上手に活用しましょう。

- ①NDL-OPAC (国立国会図書館 蔵書検索・申込システム) (<http://opac.ndl.go.jp/index.html>)
- ・NDL-OPAC の「一般資料の検索」で、国立国会図書館所蔵の明治以降の和書、洋書、雑誌・新聞、博士論文等が検索可能です。日本国内の博士論文 (1967 年以降の受入分) や海外の博士論文 (科学技術分野に関するものが中心) も検索できます。詳しくは、NDL-OPAC 画面の「利用の手引き」(①) をご覧ください。
- ・1986 年以降に整理したアジア諸言語 (中国語、朝鮮語、インドネシア語・マレーシア語、ベトナム語、アラビア語、ペルシア語等) の図書や、中国語・朝鮮語の雑誌・新聞については、トップページの「資料の検索」タブのメニューにある「アジア言語 OPAC」で検索します。詳しくは、アジア言語 OPAC 画面の「HELP」(②) をご覧ください。



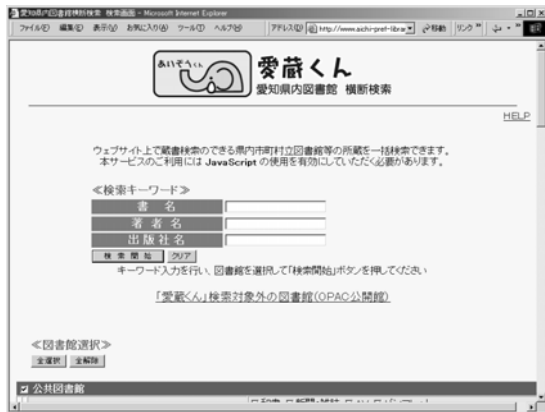
* 登録利用者制度について (<http://www.ndl.go.jp/jp/information/guide.html>)
 あらかじめ氏名・住所等を登録しておくことにより、さまざまなサービスが受けられます。例えば「遠隔複写サービス」では、個人でインターネットから文献複写を申し込むことができ、郵送または宅配便でコピーを受け取ることができます。詳しくは国立国会図書館のホームページを参照してください。

②総合目録ネットワークシステム (<http://unicanet.ndl.go.jp/psrch/redirect.jsp?type=psrch>)



- ・国立国会図書館ホームページで提供している。
- ・国立国会図書館、全国の都道府県立図書館、政令指定都市立図書館の所蔵する和図書を一度に検索できる。

③愛知県図書館「愛蔵くん」 (http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm)



- ・愛知県図書館ホームページで提供している。
- ・ウェブサイト上で蔵書検索のできる愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一度に検索できる。

④総合検索システム (<http://nihudb.chikyu.ac.jp/GlobalFinder/cgi/Start.exe>)



- ・人間文化研究機構の構成機関が公開する 100 以上の多種多様なデータベースを横断検索できる。内容は歴史学・考古学・日本文学・文化史・言語学・民俗学・民族学・文化人類学・環境学・国際日本研究など多岐にわたる。PORTA とも連携している。

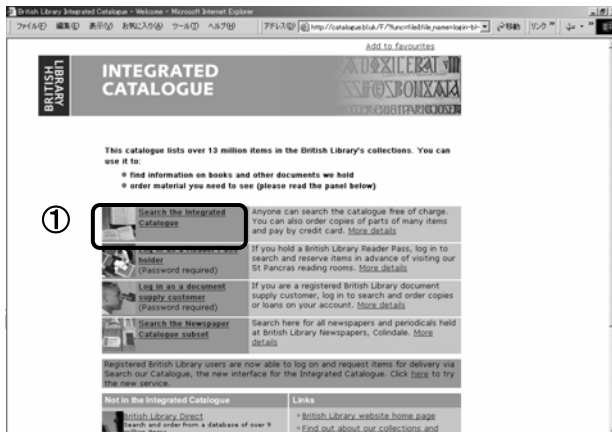
いずれも[図書館ホームページーリンク集ー総合目録]から利用できます。

4 海外の図書館を調べる

- ・国内の図書館を探しても資料が見つからない場合は、海外の図書館をあたってみましょう。代表的なものに、各国の国立図書館があります。日本の国立国会図書館と同様、その国で出版された図書や雑誌を網羅的に収集しています。
- ・[図書館ホームページ-リンク集-総合目録]から利用できます。

①British Library (http://catalogue.bl.uk/F/?func=file&file_name=login-bl-list)

- ・イギリスの国立図書館。海外への資料提供サービスも充実しており、貸出や複写を依頼しやすい。



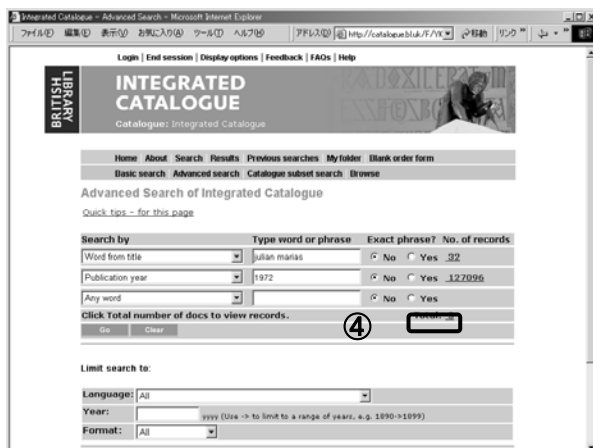
[Integrated Catalogue]画面

- ・蔵書目録を検索する場合は、「Search the integrated Catalogue」をクリックする(①)。
- ・雑誌記事索引を検索する場合は「British Library Direct」を選ぶ。



[Basic Catalogue]画面

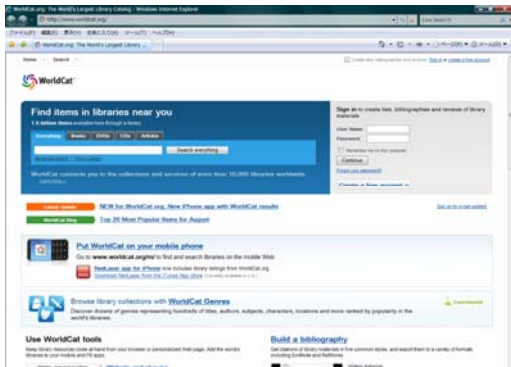
- ・初期設定は、「Basic search (簡易検索)」になっている。
- ・「Advanced search」をクリックすると(②)、項目別に検索語を指定できる「Advanced search (詳細検索)」画面に移動する。
- ・指定した検索項目別に検索語を入力し、「Go (検索する)」をクリックする(③)。



[検索結果画面]

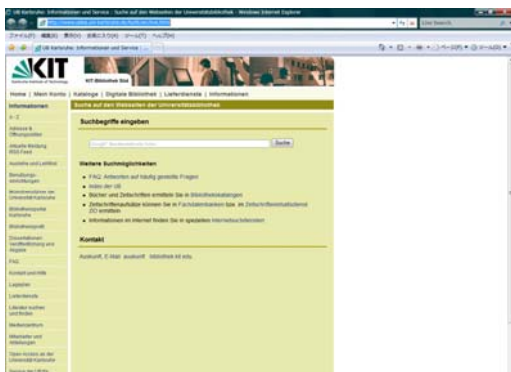
- ・検索の結果、ヒットした資料の件数が表示されるので、数字の部分をクリックする(④)。
- ・資料の一覧画面が表示されるので、詳細情報を知りたい資料のタイトルをクリックする

②WorldCat (<http://www.worldcat.org/>)



・OCLC(Online Computer Library Center)による、世界最大の書誌データベース。世界の10,000を超える図書館のデータを検索でき、地域を指定して所蔵館を調べることができる。

③KVK (<http://www.ubka.uni-karlsruhe.de/hylib/en/kvk.html>)



・ドイツ各州の総合目録と欧米の目録を横断的に検索できる。

④CCFR (<http://www.ccf.fr/portailccfr/servlet/LoginServlet>)



・フランス国立図書館とフランスの公共・大学図書館の総合目録。

⑤中国国家図書館 (<http://www.nlc.gov.cn/>)



・中国の国立図書館（北京図書館）。トップページから検索できる。